

2025年度 食輸出支援の取組

～Do★食輸出Platformとの連携～

2025年8月
経済産業省北海道経済産業局
食・観光産業課

1. 概要

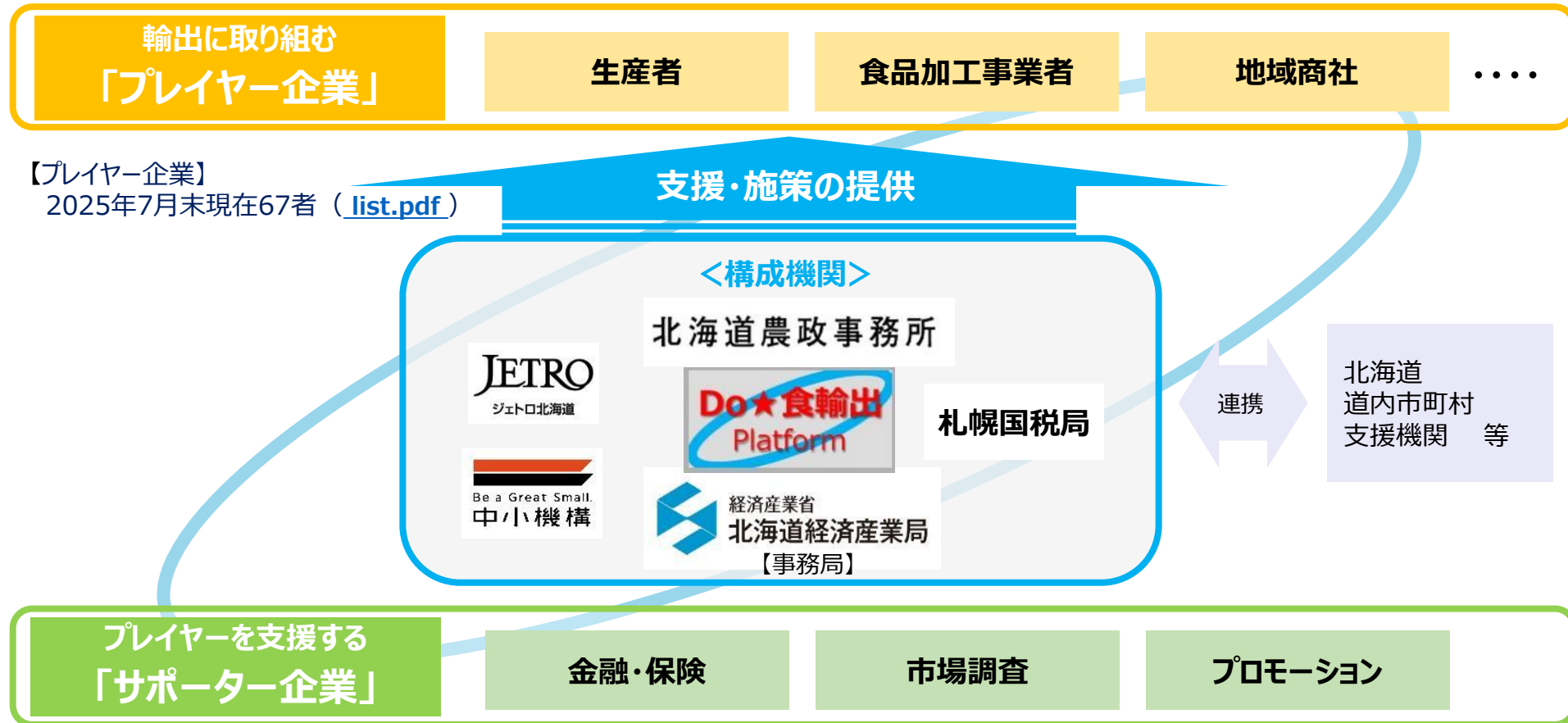
- 日本の農林水産物・食品の輸出額は、2012年の約4,497億円から12年連続で増加し、2024年には1.5兆円を初めて突破しました。農林水産省では、今年5月に農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略を改定し、2030年の目標として、農林水産物・食品の輸出額5兆円、食品産業の海外展開による収益額3兆円、インバウンドによる食関連消費額4.5兆円を設定しました。※1
- 食の一大産地である北海道においては、輸出拡大に向けて、2021年9月に、国の行政関係5機関※2を中心に「Do★食輸出Platform」を発足し、輸出事業者のニーズの掘り起こしや、各種施策を活用した課題解決や販路開拓等を支援しています。
- 一方で、近年の中国・香港等による日本産水産物等の輸入禁止措置や米国関税措置など、世界の通商環境が不透明な状況下においては、輸出品のブランド化等による高付加価値化を進めるとともに、輸出先が特定の国・地域に偏るリスクを回避するため、輸出先の多角化を検討することがより重要となっています。
- 当局では今年度も「Do★食輸出Platform」と連携し、これらの課題や道内事業者のニーズを踏まえ、各種施策を活用した支援や、輸出促進、ネットワークづくりやサポート体制の強化に取り組めます。

※1 出典：農林水産省「2024年の農林水産物・食品の輸出実績」「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化～」

※2 北海道農政事務所、北海道経済産業局、札幌国税局、JETRO北海道、中小企業基盤整備機構北海道本部の5機関。

2. 支援体制（当局の取組）

- 当局は食輸出支援において、「企業とのコミュニケーション」、「個社支援のノウハウや実績」、「中小企業支援に関する多様なツール」などの強みを有する。
- そうした強みを最大限に活かし、今年度は、Do★食輸出Platformと連携して「食品輸出人材育成支援」、「海外新市場進出に向けた商品のブランディング支援」等に取り組む。



【サポーター企業】（2025年7月末時点21社）

エア・ウォーター・ラボアンドフーズ(株)/(株)エイ・アイ・エス/(株)ABC Cooking Studio/SS GLOBAL(株)/(株)gr.a.m(クロス・マーケティンググループ) /(株)KM INTERNATIONAL COUXU(株)/(株)ジーネクスト/JA三井リース(株)札幌支店/(株)拓真プランニング/(株)TNC/トヨタ自動車北海道(株)/(株)日本政策金融公庫/日本貿易保険（NEXI）
農林中央金庫札幌支店/ハコレコドットコム(株)/(株)フォーバル/BEST CONCEPT FIELD/北海道エアポート(株)/三井住友海上火災保険(株)/(株)Wakka Japan

3-1. Do★食輸出Platformプレイヤー一覧（2025年6月25日時点・67者）

No.	プレイヤー名	所在地	輸出品目／今後輸出を希望する品目	No.	プレイヤー名	所在地	輸出品目／今後輸出を希望する品目
1	アイビック食品株式会社	札幌市	昆布だし	18	株式会社グリーンズ北見	北見市	乾燥スープ
2	農産物生産組合あっさぶ農匠	厚沢部町	かぼちゃ／かぼちゃペースト	19	小林酒造株式会社	栗山町	日本酒
3	有限会社アド・ワン	札幌市	野菜パウダー	20	CORRADO株式会社	石狩市	北海道米、カニカマ、ハラル和牛、北海道産醤油、純米酢、北海道産長芋、コーヒーフィルターロール／一次産品全般
4	網走ビール株式会社	網走市	クラフトビール、リキュール	21	サンマルコ食品株式会社	札幌市	コロッケ／いももち
5	池田町ブドウ・ブドウ酒研究所	池田町	果実酒、ブランデー、リキュール	22	株式会社神門	雄武町	韃靼そば乾麺、韃靼そば茶／有機韃靼そば粉
6	一鱗共同水産株式会社	札幌市	カニ、ホタテ／水産物全般	23	鈴木牧場	広尾町	牛乳、ソフトクリームミックス
7	株式会社H.Eファーム	札幌市	かぼちゃ	24	株式会社ダイホク	札幌市	調味料、菓子、水産、農産加工品、酒類／ソース混合調味料
8	株式会社A-Netファーム十勝	清水町	小豆、黒豆、小豆茶／発酵小豆、餡子	25	高砂酒造株式会社	旭川市	清酒、リキュール
9	株式会社MWFoods	函館市	アイスクリーム他プラントベースフード	26	有限会社タカハシ食品	函館市	にしん甘露煮、ホタテしぐれ煮、根昆布佃煮、サラダ昆布／鱈子と昆布に旨煮
10	株式会社エンクル	札幌市	ジェラート／クッキー、大福、焼菓子、おかき	27	中央水産株式会社	稚内市	冷凍魚／惣菜、魚貝類加工品
11	株式会社小樽海洋水産	小樽市	甘エビの魚醤、レンジ対応個食鍋／冷凍寿司ケーキ	28	有限会社ツクナカ	小樽市	味付帆立貝など／味付帆立貝など
12	男山株式会社	旭川市	清酒／清酒、リキュール、清涼飲料水	29	株式会社 壺屋総本店	旭川市	菓子（和菓子） 北海道小豆を使用。アメリカヘローカライズを図ったあんこ商品
13	カドウフーズ株式会社	函館市	大福、スイートポテト、プリン、レトルト野菜	30	有限会社十勝しんむら牧場	上士幌町	牛乳、ミルクジャム
14	株式会社菊水	江別市	冷凍生ラーメン（業務用）常溫寒干しラーメン（市販用・業務用） チルドラーメン（市販用・業務用） ／冷凍生ラーメン、冷凍生そば	31	株式会社とかち製菓	中札内村	冷凍スイーツ、冷凍和菓子
15	北一ミート株式会社	札幌市	食肉加工品、食肉	32	株式会社十勝大福本舗	幕別町	加工食品（冷凍和菓子）
16	株式会社北国からの贈り物	弟子屈町	蟹、ホタテ、いくら、靈芝茶、靈芝カプセル、ラベンダー小物、馬油コスメ、日本酒、菓子、干し貝柱、干しなまこ、干し鮑、他／レトルトコーンスープ、栄養ドリンク（清涼飲料水）、アイスクリーム、加工品	33	有限会社十勝太陽ファーム	本別町	電子レンジ専用北海道十勝ポップコーン
17	国稀酒造株式会社	増毛町	日本酒・酒粕焼酎・リキュール・スパークリング酒	34	株式会社十勝トテッポ工房	帯広市	冷凍スイーツ／常溫スイーツ

3-2. Do★食輸出Platformプレイヤー一覧（2025年6月25日時点・67者）

No.	プレイヤー名	所在地	輸出品目／今後輸出を希望する品目	No.	プレイヤー名	所在地	輸出品目／今後輸出を希望する品目
35	西山製麺株式会社	札幌市	生ラーメンなどの麺類	52	株式会社北海道バイオインダストリー	札幌市	調味料・タマネギドレッシング シリーズ
36	株式会社ニトリパブリック	札幌市	日本酒、リキュール、ワイン、ウイスキー、ビール、スパークリング酒、加工食品／食品全般	53	株式会社北海道米菓フーズ	旭川市	米菓（おかき・煎餅）／米粉・野菜パウダー
37	日本食品製造合資会社	札幌市	シリアル	54	北海道ワイン株式会社	小樽市	日本ワイン／GI北海道認定の日本ワイン
38	株式会社はこだてわいん	七飯町	酒類（果実酒・甘味果実酒）	55	株式会社北海永徳	標津町	鮭、貝付き冷凍ホタテ等／ホタテ玉冷凍、イクラ類
39	有限会社はすかつぶサービス	苫小牧市	ハスカップ濃縮顆粒ロニセラ／ハスカップティバッグ	56	有限会社ほんだ菓子司	砂川市	アップルパイ、ギリシャヨーグルト
40	有限会社B'weeds	帯広市	ヴィーガンジェラート	57	株式会社ほんま	札幌市	月寒あんぱん、月寒ドーナツ、寒月
41	株式会社不二屋本店	札幌市	菓子、農産品、麺類、海産加工品等	58	株式会社マージェリー	帯広市	とうもろこし／ゆりね、牛肉、乳製品、加工品
42	ふたみ青果株式会社	釧路市	フリーズドライ牛乳、レトルトコーン／じゃがバター	59	株式会社松原米穀	札幌市	北海道産米
43	株式会社ブライム・ストリーム北海道	音更町	食品全般	60	株式会社円甘味	小樽市	カスタードキューブ、パウムクーヘン／全ての商品
44	株式会社プロイハウス大沼	七飯町	クラフトビール	61	マルカイチ水産株式会社	紋別市	冷凍ホタテ貝柱、冷凍ズワイガニ他／ホタテ加工品
45	有限会社プロセスグループ夢民舎	安平町	カマンベールチーズ他	62	株式会社マルコシ・シーガル	根室市	主に北海道食品／要相談
46	株式会社ベイクド・アルル	江別市	冷凍ケーキ、洋生菓子全般	63	有限会社ヤマキュウすずき物産	札幌市	北海道産お米小分けパック
47	ベル食品株式会社	札幌市	焼肉、すき焼き、ラーメンサラダのたれ等／スプレッド、常温プリン	64	株式会社裕多加ショッピング	札幌市	清酒、リキュール、焼酎
48	北海道クラフトビネガー株式会社	ひだか町	フルーツビネガー、日高昆布そば	65	株式会社世帯屋	札幌市	冷凍うに
49	一般財団法人北海道食品開発流通地興	函館市	畜産物、畜産加工品、乳加工品、冷凍・常温菓子、カボチャペースト／乳加工品（チーズ）	66	株式会社ループライズ	中標津町	牛乳、ヨーグルト、クロワッサンペーグル
50	北海道食品輸出開発株式会社	札幌市	牛肉、豚肉、鶏肉／スイーツ、水産加工品	67	株式会社ワンクルーズ	札幌市	ウニ
51	北海道総合商事株式会社	札幌市	冷凍加工品（水産・スイーツ）、青果／商品開発を伴う冷凍加工品				

4. 食品輸出人材育成支援

- 北海道の食品産業は、輸出を志向する事業者が増加傾向にあるものの、輸出実務や海外営業等に対応できる人材が不足している事業者が多く、輸出拡大を拒む大きな要因の一つとなっている。
- 本事業では、輸出に携わる事業者が輸出事業を効果的に進めるため、輸出を担う人材の確保・育成や職場環境の整備（人材戦略）について専門家による伴走支援を行う。

【支援対象】

輸出に意欲的な企業の経営層

※Do★食輸出プレイヤー企業から4社程度を公募・選定

【実施期間】6月～2月

【支援内容】

ステップ1：伴走支援対象企業の食品輸出における経営課題と人材課題の整理

ステップ2：伴走支援対象企業の食品輸出にかかる経営課題への対応策や必要人材の確保・育成方法等を検討

ステップ3：人材採用・育成活動の実践支援

【成果報告会】

伴走支援の実施成果を道内食関連事業者・支援機関等に横展開することを目的として、以下の内容にて実施

日 程：2026年2月（予定）

会 場：札幌市内

« 人材マネジメント専門家 »

北海道を地盤とする北洋銀行系列のコンサルティング会社



« 輸出専門家 »



(株)REA
代表取締役
鈴木 俊介 氏

大手商社の食料カンパニーで農産物の輸出入取引等を担当。2021年から、北海道よろず支援拠点のコーディネーター。



Chaos ASIA
合同会社
代表社員
依田 知則 氏

海外マーケティング、現地サプライチェーンの構築、海外販路開拓を実践。中小機構のアドバイザー（国際化・販路開拓）も歴任。



BEST
CONCEPT
FIELD
代表
石田 栄 氏

道内大手製麺会社で、世界各国で自社商品の営業、ラーメン店開業支援、輸出業務に取組。2024年から輸出コンサルティングを開始。

5. 海外新市場進出に向けた商品のブランディング支援

- 海外新市場への進出にあたっては、その国の消費動向に合わせた商品価値の訴求が重要。
- 本事業では、日本食の有望市場に位置づけられるマレーシアをターゲットに、商品名やパッケージデザインのリメイクを支援。
- また、そうした成果物は知的財産として保護することや、現地の登録商標を侵害しないための対策が重要。
- そこで、知財専門家も支援チームに参画し、知財保護の観点からも助言を行いながらブランディングを支援する。

マレーシアの可能性



- ・ 富裕層の人口：690万人（ASEAN第1位）
- ・ 上位中間層の人口：1,550万人（同第2位）
- ・ 世界有数の親日国であり、北海道の認知度が高い
- ・ 多民族国家であり、ハラル認証を必要としない民族も多数

※富裕層：世帯所得35,000ドル/年以上 上位中間層：世帯所得15,000ドル/年以上

👉 ターゲットに合わせたブランディングや知財管理が重要な市場



事業の流れ



現地ガイド



ブランディング専門家
知財専門家



現地デザイナー

参加事業者の選定（8月）

現地調査（9月）

ブランディング支援
（10～11月）

パッケージデザイン等の
リメイク（12月）

成果報告セミナー（2月）

海外進出のためのブランディングに意欲的な事業者を選定

・現地小売店の視察
・現地バイヤーとの意見交換

専門家チームの伴走支援で、
現地向けブランディングを検討

現地トレンドに精通するデザイナーが磨き上げを行い、完成

一連のプロセスから得られた
ノウハウをオンラインで共有

6. ①「Do★食輸出Platformビジネス交流会」の開催 ②「食輸出支援メニューブック」の活用によるワンストップ支援の強化

- Do★食輸出Platformでは、プレイヤー企業・サポーター企業・構成機関が一堂に集まる交流会を開催し、輸出や支援事例の情報交換等を通じて、輸出拡大に向けた新たな取組やビジネスの創出を促進。
- Do★食輸出Platform構成機関の多様な支援メニューを食輸出企業に分かりやすく届けるため、「食輸出支援メニューブック」を随時アップデートし、効率的な施策発信によりワンストップ支援機能を強化。

「Do★食輸出Platformビジネス交流会」

日 程：2026年2月（予定）

会 場：札幌市内

【開催概要】

- ・プレイヤーによる輸出事例発表
- ・サポーター企業による支援事例発表
- ・プレイヤーによるピッチ（取組紹介）
- ・構成機関からの情報提供 等



2023年度3月の開催の様子

✓課題別に施策を整理しており、最適な支援メニューを効率的に検索可能。

道内の食輸出事業者・支援機関の皆様へ

食輸出支援メニューブック

～北海道の食輸出を応援します～

食輸出に取り組む事業者の皆様へ、最適な施策をお届けするための簡単な施策集です。
事業者の皆様はもちろん、支援機関やサポーター企業の皆様もご活用ください。

2025年3月31日
DO★食輸出Platform



【お問い合わせ】
本資料は各施策の概要のみを記載しています。募集期間等の最新情報・制度の詳細は各施策のホームページをご確認ください。

販路開拓をしたい

⑤ GFP 農水産物・食品輸出プロジェクト 北海道農政事務所

どのように使う？

- ・輸出商社等とのマッチング・商談を行いたい。
- ・輸出に関する各種支援、展示会等の情報収集をしたい。

制度概要

- ・GFP会員に登録すると、登録会員に対して、売りたい・買いたいニーズを発信可能。
- ・支援施策等の情報を会員限定のメール配信やFacebook等で発信。
- ・輸出可能性を無料で診断する「輸出診断」を実施。

詳細

GFPホームページ
<https://www.gfp1.maff.go.jp/>

詳しくはこちら



⑥ 日本産酒類輸出促進コンソーシアム (SAKE-CONSO) 札幌国税局

どのように使う？

- ・酒類製造者や輸出船・商社等とのマッチングの機会を得たい。
- ・海外の市場動向や輸出に関するセミナーを受講したい。

制度概要

- ・酒類製造者や輸出船・商社等とのマッチングを支援。
- ・国税庁実施の海外商談会等への参加を支援。
- ・海外の市場動向や輸出セミナーの開催。
- ・酒類の輸出専門家による個別相談対応や国内商談への同席といった支援も提供。

お問い合わせ・詳細

日本産酒類輸出促進コンソーシアムホームページ
<https://sake-consortium.nta.go.jp/>

詳しくはこちら



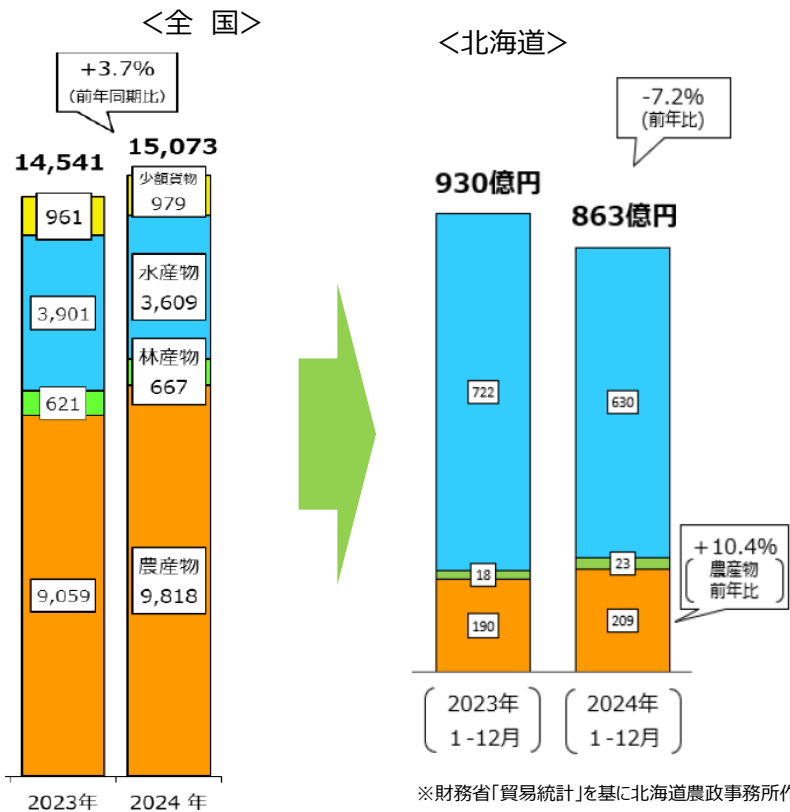
参考資料

【参考 1】農林水産物・食品の輸出概況

- 我が国の農林水産物・食品の輸出額は、2024年は年間で1兆5,073億円。北海道における輸出額は863億円※となり我が国の約6%を占め、北海道の輸出額全体の約1/5を占める。

※ 道内港のみ
- 世界的に需要の高いホタテ貝を含む水産物が約7割を占める。今後は、北海道が産出額上位を占める生乳・米・肉用牛や菓子等の加工食品等、政府が定めた輸出重点品目全体の底上げが重要。

◆全国と北海道の農林水産物・食品 輸出額



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※単位は億円
※項目は上から水産物、林産物、水産物

◆2024年の北海道における農林水産物・食品 輸出額 品目別

品 目		金 額 (百万円)	前年同期比 (%)
農 産 物	加工食品	7,494	+7.0
	ビール	101	▲42.0
	清酒	88	+46.8
	その他アルコール飲料	254	+6.6
	調味料	455	▲1.2
	ソース混合調味料	212	+43.7
	調製食品	1,107	+22.3
	清涼飲料水等	1,665	▲3.0
	菓子（米菓、チョコレート菓子、ワッフル・クレープ等を除く）	419	+24.7
	チョコレート菓子	1,761	+10.3
	ベーカリー製品類	940	▲3.6
	畜産品	7,038	+27.5
	牛肉	418	+6.5
	豚肉	589	▲21.1
	鶏肉	11	▲69.2
	鳥卵・卵黄	56	+9.7
	酪農品	1,380	+0.2
	牛乳・部分脱脂乳	965	+11.9
	粉乳等	388	▲21.8
	動物性油脂	1,867	+149.4
水 産 物	原皮	568	▲7.2
	穀物等	2,460	+21.1
	穀物	1,290	+24.9
	米	1,289	+24.9
	穀粉調製品	1,055	+12.8
	麦芽エキス、穀粉等	283	▲40.4
	即席麺	40	+9.0
	パスタ類	664	+79.1
	野菜・果実等	3,197	▲9.7
	果実・その調製品	507	+10.2
林 産 物	野菜・その調製品	2,682	▲12.8
	野菜（生鮮・冷蔵・乾燥）	1,898	▲9.4
	たまねぎ及びジャロット	180	▲41.1
	ながいも	1,604	▲5.9
	その他の野菜調製品	784	▲20.0
	ばれいしょ	626	▲26.5
	その他農産物	751	▲13.3
	配合調製飼料	438	▲22.2
	林産物	2,313	+27.6
	素材（丸太）	1,316	+31.7
水 産 物	製材	469	+12.9
	水産物（調製品除く）	57,064	▲9.9
	ホタテ貝	40,362	▲5.3
	さけ・ます	4,527	▲23.1
	たら	440	▲58.9
	すけそうだら	237	▲49.8
	いわし	542	+128.1
	さんま	215	+92.6
	ひらめ・かれい	160	▲37.8
	かに	1,089	+5.5
水 産 物	いか	42	+33.5
	たこ	13	▲90.4
	魚油（肝油除く）	5,330	▲33.3
	水産調製品	5,944	▲32.8
	貝柱（調製）	403	+113.2
	乾燥なまこ（調製）	2,086	▲25.7
	その他の調製なまこ	2,502	▲36.7
	キャビア及びその代用物	184	▲52.4

※財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所作成

【参考2】輸出促進方策等の整理

- 食輸出のサプライチェーンの大きな流れは「（原料）生産・調達」→「加工・製造」→「物流」→「（海外）販売・プロモーション」で整理することができる。
- 当局では20事業者を対象に食輸出にインパクトを与える取組事例の調査を実施し、今後、食輸出を効果的に促進するためのポイントを以下にまとめた。

サプライチェーン	輸出促進に資する取組
生産・調達	①規格外品の一次産品を有効利用し商品開発 ②輸出商品の高付加価値化により生産者にもメリットのある調達価格を設定 ③川上（一次産業）に参入することにより原材料を安定調達 ④各種認証や試験データを取得し、原料そのものの高付加価値化により輸出商品を差別化 など
加工・製造	⑤新技術の導入等による賞味期限の延長、常温流通可能な商品の開発など輸出に適した商品の開発（改良含む） ⑥ ストーリー性のある高付加価値商品の開発、パッケージの工夫等による商品の差別化 ⑦商品生産、原材料等の加工を行う外注先を確保した効果的な輸出商品の生産 ⑧現地リサーチを徹底しマーケットインの考え方で輸出商品を選定・開発 ⑨ビーガン食品、グルテンフリー、無添加食品などニッチ市場に対応した商品を開発 など
物流	⑩ 直接貿易を行うことで物流コストの低減と効果的な情報流を構築 ⑪商社機能の強化により、取引先企業のニーズに応じた商品を供給 など
販売・プロモーション	⑫ 海外の市場情報の収集、フォローアップも含め、現地プロモーションを自社自ら積極的に実施 ⑬売価に応じた商品の価値を理解頂くため、使い方・食べ方・ストーリーを対面で訴求 など
その他	⑭輸出先国に事務所を設置あるいはパートナーを確保し効果的に生産・販売・プロモーション活動を実施 ⑮事業スタート段階から海外マーケット開拓を視野に入れた展開を実施 ⑯ターゲットを業務用に設定し、新たなメニュー・食文化を提案（開発・PR 含） など

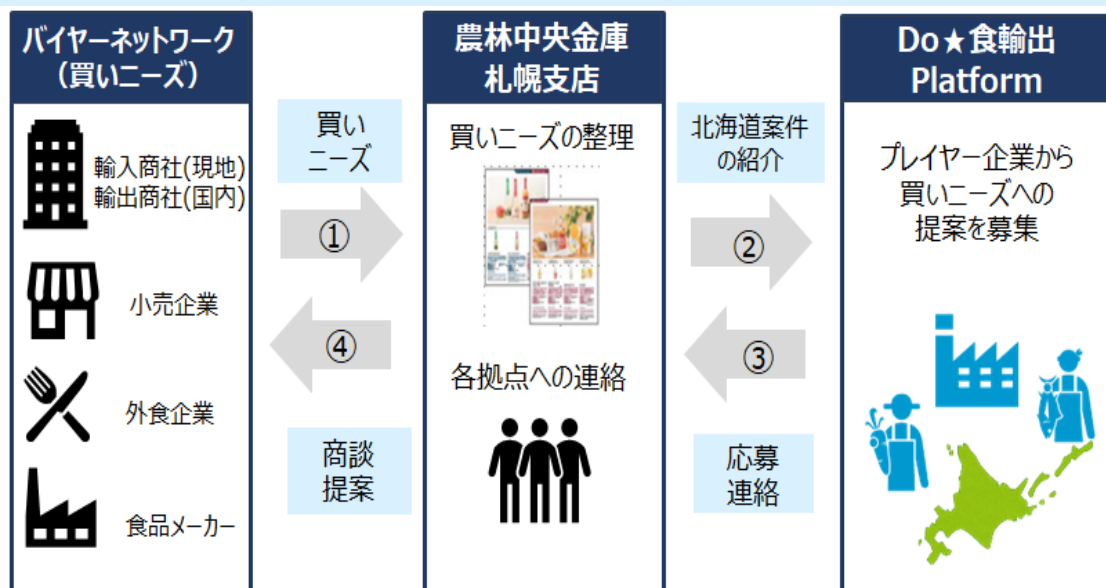
【参考3】「Do★食輸出マッチング」の実施

- 道内の輸出事業者は、輸出における最も大きな課題として、「商談・販売（パートナーの確保・海外ニーズの把握等）」を挙げており※、海外バイヤー等との商談機会を望む声が多い。
- Do★食輸出Platformでは、行政機関、サポーター企業等のネットワークを活用した個別マッチングを実施するとともに、海外スーパーマーケットとのマッチングを実施。

※2024年3月19日開催の「DO★食輸出プラットフォーム ネットワーキング」参加者へのアンケートにおいて、7割が「商談・販売」を課題として回答（回答者数32名）。

（1）農林中央金庫による個別輸出マッチング

- 同金庫の国内外拠点のネットワークを活用し、現地企業に商品を紹介する「個別輸出マッチング」を実施。
- 札幌支店は道内企業が対象となるマッチング案件をプラットフォーム内に共有し、成約に向けた支援を行う。



（2）海外スーパーマーケットとのマッチング

- Do★食輸出プレイヤー企業を中心とした道内中小菓子メーカー7社の商品について、香港 DONKI の10店舗にてテスト販売イベントを実施。
- バイヤーとの意見交換や市場動向の把握を通じて、参加企業のさらなる販路拡大につなげるとともに、地域商社を核とした輸出拡大に向けた方策を検討。

